

**設問 1** 登録基幹技能者講習の受講要件として、**誤っているものはどれか。**

- イ サッシ・ドア・カーテンウォールまたはシャッター施工の実務経験が10年以上
- ロ サッシ・ドア・カーテンウォールまたはシャッター施工の職長経験が通算3年以上
- ハ 一級サッシ施工技能士または一級カーテンウォール施工技能士もしくは優秀施工者国土交通大臣顕彰者(建設マスター)
- ニ 平成27年度より青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰者(建設ジュニアマスター)も資格要件に加えられた

**設問 2** 登録基幹技能者の活用に関する記述として、**誤っているものはどれか。**

- イ 建設業法において、主任技術者の要件の1つとして認められている
- ロ 建設キャリアアップシステムにおいて、能力評価基準の最高位(レベル1)要件の資格として位置付けられている
- ハ 公共工事における総合評価落札方式においても評価・活用されている
- ニ 元請企業の優良技能者認定制度等における活用が促進している

**設問 3** 基幹技能者の役割に関する記述として、**誤っているものはどれか。**

- イ 技術者から指示された施工計画、施工要領が確実に実行されるよう技術者との調整、前工程、後工程を担当する職方の職長との連絡調整を行う
- ロ 施工図通りの施工ができないとき、技術的提案を行い問題解決を図る
- ハ 安全基準を遵守した施工方法を指導する
- ニ 前工程の遅れに従い、後工程もそれに従う

**設問 4** 「とうりよう」の役割の記述①～④のうち、**誤っているものはいくつあるか。**

- ① 組織のまとめ役
- ② 「手作りの味」を生み出す最高の技能者
- ③ 他の組織(元請や他職)との調整役
- ④ 現場の経営責任者として生産性の向上を図る

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問 5** 建築のものづくりの記述①～④のうち、**誤っているものはいくつあるか。**

- ① 人に頼まれてからつくる
- ② 一人で作ることはできない共同作業である
- ③ 創意工夫の余地があるので、ただ単に設計図通り、指示通りにつくれば良いというわけではない
- ④ 誰でもつくれるものではなく、職人がつくる

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問 6** OJT教育の特質の記述①～④のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

- ① 先入観が生じないように、外部との接触は規制する
- ② 成長を促すため、部下のペースよりテンポを速くする
- ③ OJTは上司の仕事そのものである
- ④ 失敗はつきものなので、仕事のペースが落ちるのはやむを得ない

イ 0      □ 1      ハ 2      ニ 3

**設問 7** 能力開発に関する記述①～④のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

- ① 指導者以上の部下を育てることが理想である
- ② 伸ばしやすい部分を伸ばし、成長感を味わえるようにする
- ③ ヒトの能力は無限なので、目標レベルは設定しない
- ④ 能力開発にはレベルの高いライバルの存在が重要である

イ 0      □ 1      ハ 2      ニ 3

**設問 8** OJTで向上させる能力の記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ CSR、法律、社会のルールを守る能力
- 責任感や協調性などの態度能力
- ハ 他人の役に立とうと働く能力
- ニ 他人の様子を見ながら、周囲の変化を待つ能力

**設問 9** 5Sと作業環境の管理の記述①～④のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

- ① 5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字をとったものである
- ② 5S活動は安全管理や品質向上を目的として推進される
- ③ モノを探す時間の削減効果があり、生産性の向上が期待できる
- ④ 「整理」は使用しないもの・いらぬものを捨てることである

イ 0      □ 1      ハ 2      ニ 3

**設問 10** 面談指導のポイントの記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 本人の悩み、問題点を聞き取る
- ねぎらいの言葉や明日への期待の言葉をかける
- ハ 報告を受ける時に指導する
- ニ 問題と原因の整理を行い、未達成の部分の責任追及を行う

**設問 1 1** サッシアンカーの固定に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ アンカーは建具に相応したもので、その間隔（ピッチ）は端部を押えて、中間部は500mm以下とする
- ロ 連結鉄筋の溶接は必ずアンカー部より取り、障子又は扉重量の加わる部分は入念に溶接を行う
- ハ 溶接作業は溶接電流を適正にし、アークを安定させる必要がある
- ニ 乾式工法で枠周りにモルタルを充填しない場合は、溶接スラグを取り除くことなく防錆処理塗装を施す

**設問 1 2** 次のファスナーの必要な機能に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ カーテンウォールの自重、地震力、風圧力を躯体に伝えることができること
- ロ 躯体の層間変位及び垂直方向の変形に対し追従し、金属の温度変化による伸縮を拘束しない変形吸収ができること
- ハ 水密性・気密性を付与できる材料であること
- ニ 躯体誤差、製品誤差、取付誤差を吸収できること

**設問 1 3** サッシ及びドアの性能とその説明の組合せとして、**誤っているもの**はどれか。

- | (性能)  | (説明)                                 |
|-------|--------------------------------------|
| イ 断熱性 | — 熱が移動するのを、どのくらい抑えることができるか           |
| ロ 水密性 | — 規定量の雨水の浸入を、防げるか                    |
| ハ 気密性 | — サッシ・ドアのすき間から、どのくらい空気がもれるか          |
| ニ 遮音性 | — 室外から室内へ侵入する、室内から室外へ漏れる、音をどのくらい遮れるか |

**設問 1 4** 養生に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ ロングスパンエレベーターの前の施工後のサッシの養生については、その後の作業が続くため、サッシに傷や損傷がないように特別な養生をゼネコンに依頼する
- ロ コンクリート及びモルタルが製品に付着した場合は、速やかに汚れを除去する
- ハ アルミニウム合金製品に酸性物質が付着し、そのまま放置しても腐食することはない
- ニ 養生材は、現場シール及び付属部材取付けを考慮して貼り付ける

**設問 1 5** 開閉方法による区分で、スイングに属する窓はどれか。

- イ 上げ下げ窓
- ロ 開き窓
- ハ 引き分け窓
- ニ 片引き窓

**設問16** 建設業法の用語の定義の記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 建設業とは、元請、下請その他いかなる名義をもってするかを問わず、建設工事の完成を請負う営業をいう
- ロ 建設業者とは、建設業法による許可を受けて建設業を営む者をいう
- ハ 発注者とは、公共工事における注文者のことをいう
- ニ 下請契約とは、建設工事を他の者から請負った建設業を営む者と他の建設業を営む者との間でその建設工事の全部または一部について締結される請負契約をいう

**設問17** 建設業許可の記述①～④のうち、**正しいもの**はいくつあるか。

- ① 都道府県知事許可でも日本全国どこでも建設工事を行うことができる
- ② 同時に2つ以上の業種の許可を受けることができる
- ③ 建設業許可は5年間有効で、5年ごとに更新が必要である
- ④ 請負金額1億円のCW工事は一般建設業許可を受けていれば良い

イ 1      ロ 2      ハ 3      ニ 4

**設問18** 建設業法上の施工技術の確保に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 主任技術者は、建設工事を適正に施工するため、建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理、施工従事者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならない
- ロ 主任技術者または監理技術者は、工事を請け負った建設業者との直接的かつ恒常的な雇用関係が必要である
- ハ 公共性のある施設・工作物または多数のものが利用する施設・工作物のうち、請負金額が4,000万円以上の下請工事については、主任技術者は工事現場ごとに専任でなければならない
- ニ 建設業許可を持たない業者は、主任技術者を配置しなくても良い

**設問19** 次の文章の（①）（②）に当てはまる語句の組み合わせとして、**正しいもの**はどれか。

労働安全衛生法は、労働基準法と相まつて、労働災害の防止のための（①）基準の確立、責任制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的（②）な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

（①）                      （②）

- イ 安全                      網羅的
- ロ 危害防止                具体的
- ハ 行動                      計画的
- ニ 危害防止                計画的

**設問 2 0** 常時50人以上の労働者が混在作業する建設現場の安全衛生組織の役割で、元請以外の請負人が、業種や規模・回数に関係なく、選任する義務があるものはどれか。

- イ 安全衛生責任者
- ロ 作業主任者
- ハ 衛生管理者
- ニ 産業医

**設問 2 1** 墜落制止用器具の記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 原則フルハーネス型を使用することとされ、安全衛生特別教育が追加された
- ロ 着用者の体重及びその装備品の重量の合計に耐えるものでなければならない
- ハ 足元にフック等を掛けて作業を行う必要がある場合は、第一種ショックアブソーバを選定する
- ニ 点検・保守及び保管は、責任者を定める等により確実にを行い、管理台帳等にそれらの結果や管理上必要な事項を記録しておく必要がある

**設問 2 2** 現場での化学物質ばくろリスク低減の記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ ハザードレベルが高い化学物質が含まれている場合には、ハザードレベルの低い化学物質に変更できないか検討する
- ロ 化学物質が拡散しないように、できる限り窓を閉めた室内で使用する
- ハ 2次ばくろを避けるために、作業着の洗濯頻度・保護具の取り換え頻度は高める
- ニ 危険性が高いので取扱い作業時間を短く出来ないかを検討する

**設問 2 3** 金属アーク溶接作業の健康障害防止措置の記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ ビル用サッシの施工作業現場は、毎回異なる屋内作業場に分類されている
- ロ 各現場に特定化学物質作業主任者または金属アーク溶接等作業主任者を選任する必要がある
- ハ じん肺の特殊健康診断は、所見あり・なしとも1年に1回受けなければならない
- ニ 作業主任者を配置した場合には、作業場の見やすい所へ掲示しておく必要がある

**設問 2 4** 建設工事の工程・原価・品質の相互関連性に関する記述①～③のうち、**正しいもの**はいくつあるか。

- ① 工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え原価は安くなるが、さらに施工速度を上げると突貫作業となり、さらに原価は安くなる
- ② 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は安くなるが、品質を下げると原価は上がる
- ③ 品質と工程の関係は、品質を下げると一般的に時間がかかり施工速度は遅くなるが、施工速度をムリに上げようとするとも品質は一般的に上がる

- イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問25** 施工管理に関する記述①～③のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

- ① 品質管理、原価管理、工程管理、環境保全管理を工事現場の四大管理と呼ばれている
- ② 施工管理の究極の目的は、品質（より良く）、工期（より早く）、価格（より安く）の三要素に集約される
- ③ PLAN → DO → CHECK → ACTIONを繰り返しながら作業を進めていくことを「PDCAの輪を回す」という

イ 0      □ 1      ハ 2      ニ 3

**設問26** 施工計画と事前調査に関する記述①～③のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

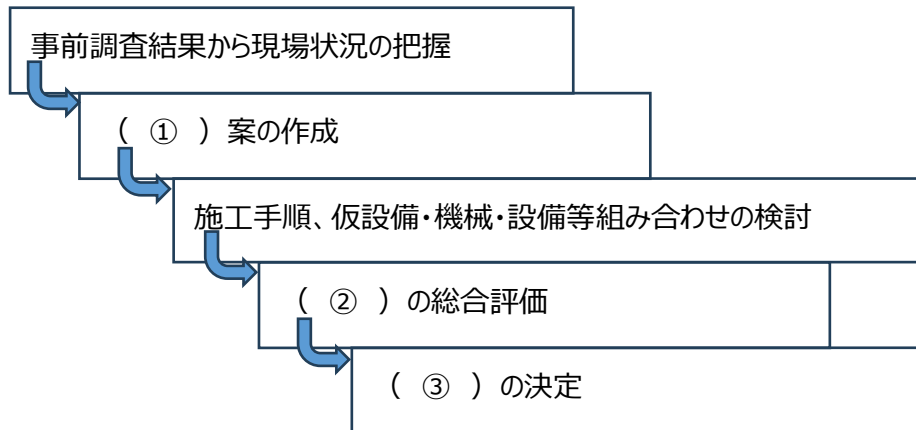
- ① 施工計画とは、さまざまな社会的制約の中で、工事目的物を完成させるために、品質、原価、工程、安全、環境保全に対する管理方法を総合的に計画したものである
- ② 施工計画の流れとしては、事前調査 → 基本計画 → 詳細計画 → 管理計画である
- ③ 建設工事は、現場の自然現象や敷地条件、周辺の状況など、十分に事前調査を実施することが、施工計画をはじめとして、工事価格の見積りを適正にし、工事を成功に導くことになる

イ 0      □ 1      ハ 2      ニ 3

**設問27** 品質管理計画に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 品質管理とは、設計図書及び仕様書に示された品質を十分満足するような工事目的物を、最も経済的につくるための管理のことである
- 施工する技能者の技量不足や品質管理の重要性を理解していなければ、高品質のものはいできない
- ハ 出来形管理は、工事目的物が設計図書に示された形状、寸法を満足しているかを確認し、欠陥がなく信頼度の高いものを完成させるように管理することである
- ニ 適切な品質管理が行われると、良いものができるとともに、結果として無駄がなくなり、工期短縮されるが、原価を下げるにつながらない

**設問28** 基本計画の作成手順の(①)(②)(③)に当てはまる語句の組合せとして、**正しいものはどれか。**



(①)	(②)	(③)
イ 複数の施工法	最適施工法	工程・工費・安全
ロ 工程・工費・安全	最適施工法	複数の施工法
ハ 複数の施工法	工程・工費・安全	最適施工法
ニ 最適施工法	工程・工費・安全	複数の施工法

**設問29** 安全管理計画に関する記述として、**誤っているものはどれか。**

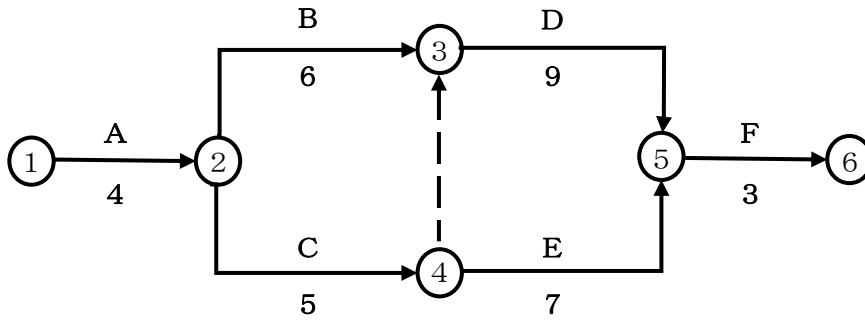
- イ 危ない場所で作業する環境と、安全な場所で作業する環境では、危ない場所での作業の方が数倍早くできる
- ロ ひとたび事故が起これば、本人や家族が不幸になるとともに、建設会社も民事責任、刑事責任、行政責任、社会的責任を負うことになる
- ハ 安全管理は、出来形とは異なり目に見えないため一方的にお金が出ていくように感じる
- ニ ハインリッヒの法則によれば、1件の重大災害(死亡・重傷)が発生する背景には29件の軽微な事故と300件の怪我や事故に至らなかった、「ヒヤリ」、「ハット」で終わった事例があるとされている

**設問30** 作業計画に関する記述として、**誤っているものはどれか。**

- イ 施工要領書は、工事開始後に予想されるさまざまな施工上の問題を、工事進捗につれてどのように対処すべきかを事前に検討し、明確にした上で作成する
- ロ 作業員が現在の作業のやり方について、「やりにくい」「疲れやすい」「気にくわない」などの不満を持っていないかを把握する必要はない
- ハ 作業方法の改善の目的は、事故・労働災害、工事の不具合等を防止するとともに、作業員の労働意欲を高め、作業結果が良質で、作業能率を向上させることである
- ニ 作業手順書作成の目的は、作業の中で発生するムリ・ムラ・ムダを取り除き、「安全に、早く、安く、出来ばえ良く、かつ能率良く仕上げる」ための最も理想的な作業順序と急所によって工事目的物を完成させることである

設問3 1 下記に示す工程表の名称として、正しいものはどれか。

アルファベットは作業名を表し、アルファベットの下の数字は所要日数を表すものとする。



- イ バーチャート
- ロ ガントチャート
- ハ 斜線式工程表
- ニ ネットワーク式工程表

設問3 2 クリティカルパスの記述として、正しいものはどれか。

- イ 作業開始から終了までの最長経路
- ロ 最も早く作業を開始できる時刻
- ハ 最も早く作業を終了する時刻
- ニ 作業の余裕時間

設問3 3 曲線式工程表の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 縦軸は、出来高累計を表す
- ロ 横軸は、距離を表す
- ハ 出来高の進捗状況をグラフ化したもの
- ニ 最初に累計出来高曲線の計画を作図したもの

設問3 4 工程計画に関する記述として、正しいものはどれか。

- イ 各工事の安全性は、考慮する必要がない
- ロ 工程計画を立てるにあたっては、季節や天候の影響を考慮する
- ハ 工事の能率は、作業員を集中して投入するほど上がる
- ニ 工事完成後、不可視部分となって確認できなくなるものについては、写真撮影を行って記録に残す必要はない

**設問35** 縦軸に工期、横軸に区間（距離）をとり、トンネル工事や舗装工事のように工事区間が線上に長く一定の方向に進捗し、比較的工種が少ない工事に用いられる工程表は何か。

- イ 工程管理曲線
- ロ 斜線式工程表
- ハ グラフ式工程表
- ニ 出来高累計曲線

**設問36** 作業可能日数と所要作業日数の関係を表している下記の式において、（ ）内にあてはまる語句はどれか。

$$\text{作業可能日数} \geq \text{所要作業日数} = \text{工事量} \div (\quad)$$

- イ 1日当たりの最大施工量
- ロ 1日当たりの最小施工量
- ハ 1日当たりの目標施工量
- ニ 1日当たりの平均施工量

**設問37** コンテナ使用時の注意点に関する記述①～④のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

- ① トラックへの合理的な積載方法を検討する
- ② 外部揚重の場合は、玉掛け治具の取付方法を検討する
- ③ 製品の合理的な取り出し方法を検討する
- ④ 輸送効率を高める為、容積率100%まで詰め込む

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問38** 搬入計画に関連する記述①～④のうち、**正しいもの**はいくつあるか。

- ① 総合建設業者と十分な打合せを行い、搬入計画を事前に作成する
- ② 搬入計画は製品の取付工程を軸に現場の受入条件を加味し、搬入日時・搬入量・使用車種・荷卸し方法等 細かく計画する
- ③ 搬入管理は事前に作成した計画に基づき、計画条件の変化などに気を配り適時、内容の調整・変更を行う
- ④ 計画を変更する場合は、迅速に総合建設業者へ変更申請するものとし、他業種に対する調整や配慮は関知しない

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問39** 受入検査に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 搬入された資材に破損や変質等の異常がないか確認する
- ロ 本体資材に問題がなければ付属品については検査を省く
- ハ 購入依頼した内容と納品書等の内容が一致しているか確認する
- ニ 納品書の内容と搬入された資材の仕様の相違や数量の不足がないか確認する

**設問40** 積荷の積載制限に関する記述①～④のうち、**誤っているもの**はいくつあるか。

- ① 幅は自動車の幅からはみ出さないこと
- ② 指定路線では高さ4.1mを超えないこと
- ③ 長さは車体全長の1.1倍をはみ出さないこと
- ④ 指定路線以外を通行する車両高さは3.8mを超えないこと

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問41** 揚重計画に関する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 資材の大きさ、重量、数量等から荷姿、梱包方法を先行して決定する
- ロ 資材によってどの揚重方法や機器が最適か検討する
- ハ 資材の保管場所は職長とのみ打合せを行い決定する
- ニ 揚重効率を考え揚重計画を立案する

**設問42** 設計図書に関連する記述として、**誤っているもの**はどれか。

- イ 仕様書でどの現場にも当てはまるのが共通仕様書である
- ロ 設計図書は設計者の意図を正確に施工者に伝える為の重要な図面や書類である
- ハ 仕様書でその建物のみに特化したのが特記仕様書である
- ニ 設計図書には重要な図面や書類があるが優先順位は全くない

**設問43** 文中の（ ）内に当てはまる語句として、**適切なもの**はどれか。

基礎日額とは、作業者の日当の平均値とその（ ）費用を加えた労務費である。

- イ 間接的な
- ロ 直接的な
- ハ 法定福利
- ニ 損害補償

**設問44** コストダウンの着眼点に関する記述①～④のうち、**正しいもの**はいくつあるか。

- ① 合理的なケチをすすめる
- ② 見えない原価に気をつける
- ③ 管理の目を粗くする
- ④ 常に生産性の向上に努力する

イ 1      □ 2      ハ 3      ニ 4

**設問45** 文中の（ ）内に当てはまる語句として、**正しいもの**はどれか。

建設業者は、建設工事の請負契約を締結するに際して、工事の内容に応じ、（ ）に材料費、労務費その他の経費の内訳を明らかにして、建設工事の見積りを行うよう務めなければならない。（建設業法第20条の1）

- イ 作業者ごと
- 作業工程ごと
- ハ 作業種別ごと
- ニ 作業手順書ごと

**設問46** 文中の（ ）内に当てはまる語句の組み合わせとして、**適切なもの**はどれか。

原価要素とは、原価を構成する要素であり、材料費、（ ① ）、経費の三要素に分類するのが一般的だが、建設工事ではこれらに（ ② ）を加え、「建設業の4原価要素」と呼ぶ。

- |       |       |
|-------|-------|
| （ ① ） | （ ② ） |
| イ 外注費 | 労務費   |
| □ 外注費 | 法定福利費 |
| ハ 労務費 | 法定福利費 |
| ニ 労務費 | 外注費   |

**設問47** 文中の（ ）に当てはまる語句として、**正しいもの**はどれか。

原価管理とは、発注者が満足する工事の質を維持し、定められた工期内で（ ）を確保するために工事費を管理する業務をいう。

- イ 適正な利潤
- 仕上げの良さ
- ハ 人員の適正配置
- ニ 安い労務費

**設問48** 文中の（ ）内に当てはまる語句として、**適正なもの**はどれか。

実行予算は利益を追及する企業経営上の理由から、受注金額から確保すべき（ ）をあらかじめ差し引いた金額範囲に収まるように組む必要がある。

- イ 法定福利費
- ロ 労務費
- ハ 共通仮設費
- ニ 粗利益

**設問49** 「住宅の品質確保の促進等に関する法律」で、新築住宅のある部分について瑕疵担保責任期間が10年に義務づけられたが、「雨水の浸入を防止する部分」ともう一つは何か。

- イ 構造上主要な部分
- ロ デザインに関する部分
- ハ 防犯を促す部分
- ニ 日照に関する部分

**設問50** Q C 7つ道具に**含まれないもの**はどれか。

- イ 散布図
- ロ 特性要因図
- ハ 建築図
- ニ 管理図

**設問51** 品質管理に取り組むための基本的な手法として、**あてはまらないもの**はどれか。

- イ リスクアセスメント
- ロ ヒストグラム
- ハ チェックシート
- ニ パレート図

**設問52** Q C 的問題解決法として、（ ）内に**あてはまる語句**はどれか。

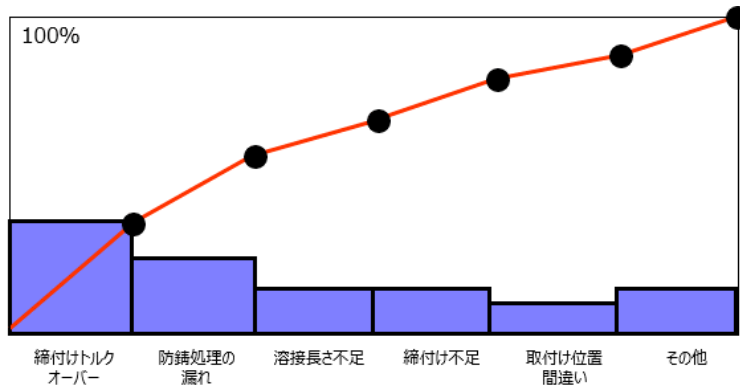
問題摘出 ⇒ （ ） ⇒ 対策の実施

- イ 経験・勘・度胸・思いつき
- ロ 要因の解析
- ハ P D C A サイクルの繰り返し
- ニ コスト検討

設問53 品質マネジメントシステムのISO規格はどれか。

- イ ISO 9001
- ロ ISO 14001
- ハ ISO 22000
- ニ ISO 45001

設問54 下図の表現方法を何というか。



- イ チェックシート
- ロ 散布図
- ハ パレート図
- ニ 管理図

設問55 建設生産の特殊性の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 工事は同じ内容を繰り返すので、事前に対応した安全設備、作業手順書等をそのまま適用すれば有効と言える
- ロ 多業種の専門工事業者が作業するため、各作業間の連絡・調整を図ることが困難と言える
- ハ 労働集約型の建設業は、装置型産業の製造業よりも、人に特化して安全対策は困難と言える
- ニ 建設物は単品受注生産であるため、安全対策の規格化や標準化は困難となる

設問56 墜落転落災害防止対策の記述として、誤っているものはどれか。

- イ はしごはしっかりと固定し、上端を床から60cm以上突出させ、はしご上での作業は原則行わない
- ロ 高さが2m以上のところでの作業通路は、幅が30cm以上とし、かつ、床材のすき間が3cm以下、手すりは床面からの高さは85cm以上で、中さんと必要に応じて幅木を設ける
- ハ 足場の解体・組立て作業を行う時には、手すり先行工法の導入に努めるとよい
- ニ 脚立の正しい使い方には、天板に乗らない、身を乗り出して作業をしない、脚立を背にして降りない、昇降時に手をあけておくなどがある

**設問57** 2025年6月1日に強化された熱中症対策において、事業者が実施すべき義務事項として、**誤っているものはどれか。**

- イ 報告体制の整備・周知
- ロ 重篤化防止措置の手順作成・周知
- ハ 作業環境・体制の整備
- ニ 熱中症予防管理者の選任・届出

**設問58** ヒューマンエラーの記述として、**誤っているものはどれか。**

- イ 中高年は本人の自覚のないまま、身体等の機能が低下していく
- ロ 見間違い、聞き違いはあっても、ど忘れ、思い込みはない
- ハ 過労でボーっとしてしまう、疲労がもたらす注意力低下が事故につながる
- ニ 人は近道をしたい、面倒なことを省略したいと、効率的に物事を進めようとして衝動的にリスクを受け入れる本能がある

**設問59** 作業員の遵守義務の記述として、**誤っているものはどれか。**

- イ 法律で資格が必要と定められた作業は、有資格者が担当しなければならない
- ロ 現場では、常に安全な作業環境を保たなければならない
- ハ 自分勝手な判断で、保護具を使用せずに作業をし、労働災害にあったときは、作業員の責任は問われない
- ニ 自分自身はもちろんのこと、仲間の安全を確保するため、さまざまな措置を講じなければならない

**設問60** 労働災害の事業者責任に関する語句の組み合わせとして、**誤っているものはどれか。**

- イ 社会的責任 - 社会保険加入義務
- ロ 刑事責任 - 業務上過失致死傷罪
- ハ 民事責任 - 高額 of 災害賠償金
- ニ 行政責任 - 作業の停止命令や、工事の指名停止等の措置